

2025年度 第2回  
多世代交流施設 尾久のはらっぱ  
グループホーム尾久の原  
小規模多機能ホーム尾久の原  
運営推進会議

2025年8月8日（金）  
13：00～13：30（GH）  
13：30～14：00（小規模）

式次第

- ① 開会の挨拶
- ② 運営推進会議メンバー紹介
- ③ 各事業の状況報告
- ④ 5～6月の活動写真
- ⑤ 皆さまからのご意見、ご提案など
- ⑥ 次回の日程確認

2025年9月19日（金）  
13：00 ～ 13：30（GH）  
13：30 ～ 14：00（小規模）

【グループホーム尾久の原 3階・4階】

報告者:佐々木皇平・青木喜美子

2025年8月5日現在

1 入居者情報 入居者数 3階9名・4階9名

① 入退居状況

3階:なし

4階:なし

② 現在の入居者状況

3階	男性	1名	女性	8名	合計9名
4階	男性	3名	女性	6名	合計9名
平均年齢	3階	90歳	4階	89歳	
平均要介護度	3階	2.1	4階	2.0	

③ 入院状況

3階:7/18～入院(女性)1名

4階:6/5～7/2 入退院(男性)1名

2 職員情報

3階:7名

4階:8名

<b>3階</b>			<b>4階</b>		
介護従業者	常勤	7名	介護従業者	常勤	6名
	非常勤	0名		非常勤	2名
	男性2名	女性5名		男性1名	女性7名

## 活動状況(2025年05~06月)

後ほど、お写真をご確認ください(^\_^)

### 4 事故報告

発生状況	対策
<p>昼食後薬を服用されてから、居室へ戻られ休まれていた。</p> <p>フロアへ戻られ職員へ声をかける。顔を見ると口の横に食べカスの様な物が付いており、食後に嘔吐があったか伺うと頷かれる。</p> <p>居室を見に行くと柵上にアスピリン錠が付いていた。</p>	<p>ご本人の側で飲み込みまで確認する。</p>
<p>センサー反応あり、訪室するとセンサーマット上にお尻、足はクローゼットの方に向け座っている。</p> <p>ご本人はベッドから落ちたような事を言われていた。</p> <p>職員は物音に気付かず。</p>	<p>巡視の際に落ちそうになっていたり端に寄りすぎていたら中心に寄って頂く。</p>
<p>居室から大きな音がし、職員が駆けつける。</p> <p>居室入口右側の壁に斜めに背を向け膝を曲げた状態で尻餅を付いている。</p> <p>声かけで足をベッド側に向きを変えて頂き、職員2人対応で立ち上がり介助。</p> <p>ベッドに腰を掛け全身確認。左の腰をぶつけた、頭はぶつけていないとの事。外傷はなし。</p>	<p>ご本人は「大丈夫、出来る」の気持ちが強いため福祉道具を勧めるのは限界がある。</p> <p>寝起きや考え事をしている時は歩行の意識が逸れやすい為、声掛けや見守りが必要になってきている。</p>
<p>移動スーパーの帰りに玄関ドアサッシに足を引っかけ右膝、右ひじをついて仰向けに転倒。</p> <p>職員3人がかりで立ち上がり介助。</p> <p>近くの椅子に腰かけ全身の確認行う。</p>	<p>前傾ですり足、早歩きだったり他の事に意識が行ってしまう事が多い為、職員の声掛けや見守りが必要。</p>

<p>入浴時、背中に貼付している毎夕食後薬のテープが8日、10日と日付のない物3枚が貼付されているのを見つける。かぶれ等は無し。</p>	<p>テープに日付記入、貼付場所の送り、剥がし終えたテープを翌日のチェックまで保存。 テープが背中に無い場合はキチンと全身を確認する。</p>
<p>リビングの自席に腰掛ける際、座り損ね後ろに尻餅を付くように転倒。 その際に左肘をつく。頭はぶつけていない。</p>	<p>意識が他に行ってしまったたり、歩行や立ち上がりといった基本的動作が不安定な為、より多くの声掛けとすぐ近くでの見守り、介助が必要。</p>
<p>自室(402号室)からベランダに出て、外階段をおり3階のフロアへ入られ、3階職員より連絡が入り気付く。</p>	<p>居室からベランダへ出たのは初めての事であった。 朝8時は夜勤者のみしかいない為、所在確認を行い、時間によるセンサー等を検討する。</p>